取扱説明書

本製品は緊急地震速報を受信し、各地での震度、到達時間を瞬時に予測演算し予報を行うものです。
緊急地震速報のシステム上、予報が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたり、また誤報を受信する場合がありますので、予めご了承ください。

※接続にあたって必要となりますネットワーク環境、及び機器類（ルータ・ハブ等）はお部屋にて用意してください。

P0-010403-03

1 安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために

本取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本取扱説明書を熟読してください。特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、本取扱説明書は本製品を使用中いつで、ご覧になれるよう大切に保管してください。

◆ 保証書について

●保証書は、必ず必要事項を記入し内容をお読みください。
●修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
●保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で交換いたします。
●保証期間内にあっても。保証書の提示がない場合や天災あるいは無理な使用による故障の場合などには交換いたしかねますこと、ご了承ください。
（ 詳しくは、保証規定をご覧ください。）

◆ 本製品の用途について

本製品は、一般事務用、家庭用などの一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する、重要な危険性を伴う用途を言います。
●原始力施設における核反応制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療機器など。

◆ 注 意

本製品は、情報処理等電波被害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術設置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品をラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

本製品には有寿命部品が含まれています。
製品に使用しているアルミ電解コンデンサーは、寿命が尽きた状態で使用続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

部品の交換は、当社の定める捕修用性能部品単位での修理による交換となります。
（電池などの消耗品は、お客様ご自身で新品を購入し、交換していただきます）

本製品の使用環境は、温度０～40℃（動作時）、温度 -10～６０℃（非動作時）・温度10～80％ＲＨ（ただし、結露しないこと）

1 安全上のご注意

本製品は、日本国内での使用を前提に製造されています。海外では使用できません。

本製品の構成部品(プリント基板、液晶ディスプレイなど)には、微量の重金属(鉛、クロム、水銀)や化学物質(アンチモン、シアン)が含有されています。

本製品は、電池を取り付けていない場合、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し、不具合を生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

■ この取扱説明書の表記について

◆ 電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されているＡＣアダプターの電源プラグは「平行２極プラグ」です。
本書では「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行２極プラグ(125V15A)用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

◆ 安全にお使いいただくための絵記号について

本取扱説明書では、いろいろな絵記号を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、ご利用のお客様自身や他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。

警 告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを表しています。

注 意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを表わしています。

1 安全上のご注意

また、危害の内容がどのようなものかを表わすために、前ページの絵記号と同時に次の記号を使っています。

⚠で表した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。
その横には、具体的な警告内容が示されています。

🚫で表した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。その横には、具体的な禁止内容が示されています。

❗で表した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。
その横には、具体的な禁止内容が示されています。

◆ 異常や故障のとき

警告

本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、すぐにＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなったことを確認して、お問合せ窓口に連絡ください。
異常事態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなったことを確認して、ご連絡ください。
異常事態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

ＡＣアダプターの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

1

安全上のご注意

◆ 設置されるとき

警 告

使用できる電源は交流１００Ｖです。
それ以外の電圧では使用しないでください。
電圧の大きさにより内部が過熱したり、劣化して感電・火災の原因になります。

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。
コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると窒息の原因となります。

外部制御機器と接続される時は、本取扱説明書および外部制御機器の取扱説明書をよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。
また、本体および外部制御機器が故障する原因となります。

1 安全上のご注意

警 告

振動している場所や傾いた場所などの不安定な場所に置かないでください。
　本製品が落下して、けがの原因となります。

本製品を移動する場合は、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、接続されたケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
　ACアダプターの電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

◆ ご使用になるとき

濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。
　感電の原因となります。

ACアダプターの電源プラグにドライバーなどの金属を近づけないでください。
　感電・火災の原因となります。

ACアダプターは、次のことに注意してお取り扱いください。
感電・火災もしくは発熱によるやけどの原因になることがあります。

・絶対に分解しないでください。
・浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所のそば、湿気の多い地下室、水泳プールのそばやほこりの多い場所で使用しないでください。
・水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
・布団の上や中など熱がこもるような環境で使用したり、放置したりしないでください。
・上に物を置かないでください。
・必ず付属のコードセット（電源コード）を使ってください。
・他の機器に使用しないでください。

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、本機器の近くで使わないでください。
　本機器の中に入って引火すると火災の原因となります。

1 安全上のご注意

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、水を使用する場所のそば、湿気の多い地下鉄、水泳プールのそばやほこりの多い場所では使用しないでください。
電気絶縁の低下によって感電・火災の原因となります。
本体内部にほこりがたまることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因となります。

本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

コネクタなどの開口部から、本製品の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

取り外したキャップなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

雷が鳴り出したり、本体やケーブル類に触れないでください。
感電・火災の原因となります。
雷が鳴り出しそうなときは、ＡＣアダプターやケーブル類を取り外し、雷が鳴り止むまで取り付けないでください。

添付もしくは指定された物以外のＡＣアダプターの電源コードを本製品に添付のＡＣアダプターや電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

ＡＣアダプター本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
電源コードの芯線が露出したり脱線したりして、感電・火災の原因となります。

本製品をお客様ご自身で修理・分解・改造しないでください。
感電・火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、お問合せ窓口にご連絡ください。

ＡＣアダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードや電源プラグが傷つき、感電・火災の原因となります。

安全上のご注意

注 意

本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となることがあります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品を直射日光が当たる場所、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

使用中の本体やＡＣアダプターを布などで覆ったり、包んだりしないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

1 安全上のご注意

◆ ご使用になるとき

警 告

ＡＣアダプターや電源プラグはコンセントから時々抜いて、コンセントの接続部分およびＡＣアダプターと電源コードの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると、感電・火災の原因になります。
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認してから差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
- グラグラしないコンセントを使ってください。

本製品の各種端子には弊社または販売元が指定したケーブル、コネクタ以外の物は差し込んだり、挿入しないでください。

故障、感電・火災の原因となります。

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使用すると、発煙、感電・火災の原因となります。
使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

液晶ディスプレイ部の破損

液晶ディスプレイ部はガラスでできています。液晶ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

目的以外の使用。

踏み台やブックエンドなど、本来の目的以外に使用しないでください。
壊れたり、倒したりし、けがや故障の原因となります。

目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、本来の目的以外に使用しないでください。
壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因となります。

1 安全上のご注意

信号ケーブルについて

・ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。
足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因となります。
また、大切なデータが失われるおそれがあります。

・ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。

電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
・コンセントを別にする。

心臓ペースメーカーを装着時の使用

心臓ペースメーカーの装着部分から 22cm 以上離してご使用ください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

◆ その他

警 告

本製品または電池の廃棄については、一般廃棄物の扱いとなります。
各地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規則を受けます。
本製品はリチウム電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投じると破裂のおそれがあります。

ご利用になる前に

◆ 緊急地震速報とは

●まずは地震の揺れの仕組みは地震が発生するとＰ波（初期微動）およびＳ波（主要動）と呼ばれる２つの波が地中を伝播速度はＰ波のほうがＳ波より速いため、初めにＰ波が伝わり､それから｢主要動｣と呼ばれる大きな揺れをもたらすＳ波が伝わってきます。

●日本全国にある約1.０００ヵ所の地震計を利用し、地震発生時には震源に近い観測点(地震計) でこのＰ波をとらえます。そのデータから直ちに震源（経度・緯度)、地震の規模(マグニチュード) を推定し、これを情報として迅速に利用者に提供するシステムを「緊急地震速報」と言います。

●本製品はこの情報を受信し、設置している地点の各種情報(経度､緯度､地盤増幅率)をもとに実際に起こる地震の大きさ(震度)と到達までの時間を予測演算し予報を行います。

※地盤増幅率とは…表層地盤の構造(硬さ)をもとに揺れの伝わる割合を表わすものです。

●システム上、予報が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたり、また誤報を受信する場合がありますので、予めご了承ください。

◆ 緊急地震速報の発信条件

●気象庁の多機能型地震計設置のいずれかの観測点において、Ｐ波またはＳ波の振幅が100ガル以上となった場合。(※1)

●解析の結果、震源・マグニチュード・各地の予測震度が求まり、そのマグニチュードが３.５以上、または最大予測震度が３以上である場合。なお、この基準は変更する場合があります。(※２)

（※1） 1点の観測点のみの処理結果によって緊急地震速報を発信した後、所定の時間が経過しても２観測点目の処理が行われなかった場合はノイズと判断し、発表から数秒～10秒程度でキャンセル報を発信します。島嶼部など観測点密度の低い地域では、実際の地震であってもキャンセル報を発信する場合があります。なお、この場合には、キャンセル報の発信までに30秒程度がかかることがあります。

（※２） マグニチュード６.０未満、かつ最大予測震度が５未満の場合には、参考情報として発表します。

◆ 必要ネットワークについて

※ 接続にあたって必要となりますネットワーク環境、および機器類（ルーター･ハブ等）はお客様にてご用意ください。

①インターネット常時接続回線が必要です。
（ＡＤＳＬ、ＦＴＴＨ、ＣＡＴＶなど、ダイヤルアップ以外）
②ご家庭内ＬＡＮ環境でのＩＰアドレスの取得が自動になっていること。
（ＤＨＣＰ有効設定）
③ご使用のプロバイダーにてＴＣＰ「9001」ポートが開放されていること。
④その他、ファイヤーウォールなどの設定をしていないこと。

2 ご利用になる前に

本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の財産や命を守るためのものではありません。実際に地震が発生した時のために、非難経路などを確認し、日頃から地震対策を充分に行ってください。

緊急地震速報の受信は、お客様自身の自己責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生したいかなる損害（速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害･間接損害の別を問わない）やその修理費等に関して、一切の責任を負いません。

◆ 地震発生時の定義とその状況

●震度０
人は揺れを感じない。

●震度１（微震）
室内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。

●震度２（軽度）
室内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。
電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。

●震度３（弱震）
室内にいる人の多くが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。
棚にある食器類が、音を立てることがある。

●震度４（重震）
かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。
眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。
歩いている人も揺れを感じる。

●震度５弱（強震）
多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。
つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

●震度５強（強震）
非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。
補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。

●震度６弱（烈震）
立っていることが困難になる。固定していない多くの重い家具が移動、転倒する。地割れや山崩れなどが発生することがある。
かなりの建物で壁のタイルや窓ガラス破損・落下する。

●震度６強（烈震）
立っていることができず、はわないと動くことができない。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。補強されていないブログ塀のほとんどが崩れる。

●震度７（軽度）
揺れに翻弄され自分の意志で行動できない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。
大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。

◆ 日ごろからの対策

地震は、いつどのような規模で起こるかわかりません。
せっかくの緊急地震速報も、事前の準備ができなければ利用価値が半減してしまいますので以下を参考に、お客様自身で事前の準備を十分に行ってください。

●家具が倒れたり、上にあるものが落ちたりすると、けがをするばかりでなく、非難時の障害にもなります。
市販の固定器具などを利用し、家具の固定・転倒防止をしておきましょう。
また、棚の上のものは容易に落下しないようにしておきましょう。

●寝室など常時いるような場所は、倒れやすいものを置かず、避難経路を確認しておき、非常時はすぐに非難できるようにしておきましょう。また、近くに靴やスリッパを常備しておきましょう。

●非常時の用意
消火器・ハンマー等、非難経路の確保に必要なものは、すぐに取り出せる所にひとまとめにしておきましょう。

●非常時の持ち出し品の用意
食料品関係・貴重品・衣類・靴・防災用品・照明器具・医療用品・携帯電話・簡易充電器なども、すぐに持ち出せるようにまとめておきましょう。

●家族で話し合いをして、非常時の非難経路場所を決めておきましょう。

2 ご利用になる前に

◆ 実際に地震が発生した場合の行動要領

● 緊急地震速報の受信時、および地震発生時

まずは身の安全の確保

倒れやすい家具などから離れ、丈夫なテーブル・机の下に隠れてください。

火元の始末（そばに居る場所）

ガスコンロなどの火を止める。また、電熱ヒーターなどの熱源となる機器の電源も切ってください。

まずは身の安全の確保

倒れやすい家具などから離れ、丈夫なテーブル・机の下に隠れてください。

● 地震発生後（揺れが収まったら）

避難経路（出口）の確保

避難を開始

ガスの元栓を閉め、ブレーカーも切ってください。
家に避難先や安否情報をメモしたものを残していくようにしてください。
避難は、必ず徒歩で行い、車などの使用を避けてください。
割れたガラスなどに注意してください。また、漏電・ガス漏れにも注意してください。

火の始末

火が出ているのであれば、すぐに初期消火してください。
一人で手に負えないようであれば、すぐに近所に協力を求めるようにしてください。

家族および周りの人の無事を確認

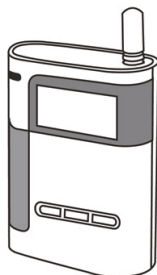
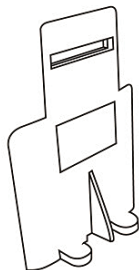
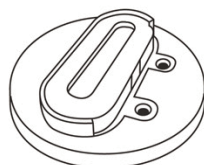
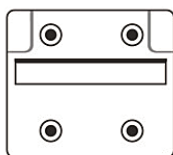
正しい情報収集

デマ情報に惑わされず、テレビ・ラジオ等で正しい情報を得て、的確に行動するようにしてください。

余震に注意

比較的大きな地震が発生すると、その近くで最初の地震より小さな地震が発生します。この地震のことを「余震」と言います。大きな地震が収まったからといって、倒れやすいもののそばに近寄ったりしないでください。

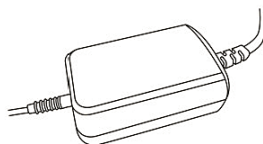
■ 梱包内容の確認

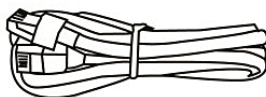
● 以下に梱包品の一覧を表示します。開封時に内容を確認してください。

●本体×1 個

●スタンド後部 ×1 個

●スタンド土台×1 個

●壁掛け用ブラケット× 1個

●電池(CR123A)×２本

●点字パネル× １ 枚

●壁掛け用ねじ × ５本

●バーコードラベル×2本

● ACアダプター ×1個

●スタンド用ねじ× ３本

● LANケーブル２ｍ× １ 本

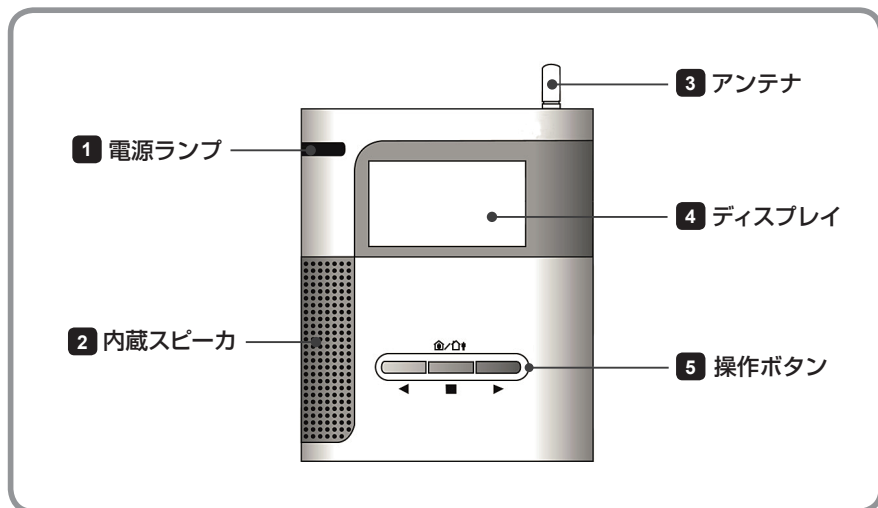
●コード固定具(樹脂製)×3個

●取扱説明書兼保証書（本書）×１ 冊

●簡易説明書× １ 枚

●ユーザー登録用紙×1枚

3 各部の名称

■ 各部の名称（前）

1 電源ランプ

ＡＣアダプターからの通電により点灯します。
また、通信異常時と地震が発生時に点滅します。
※電池のみで動作している時は消灯します。

2 内臓スピーカー

操作ボタンの操作音や地震予報を発報します。

3 アンテナ

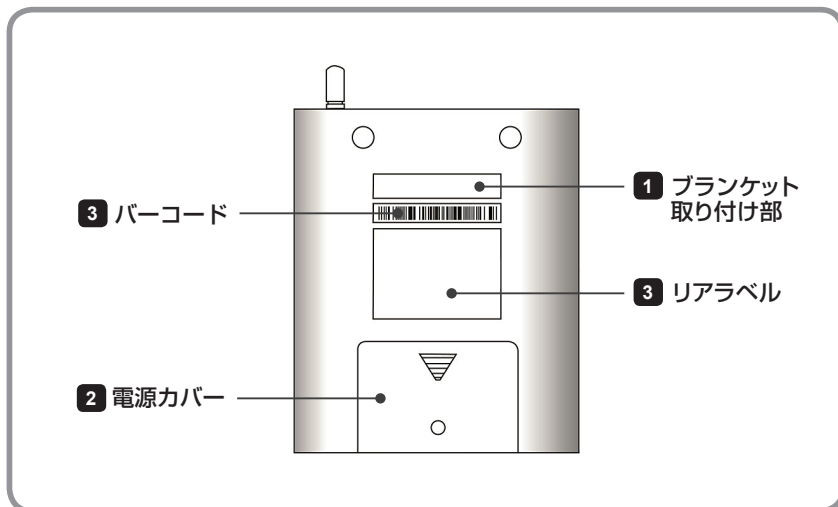
オプション機器である「サウンドユニット」に地震予報信号を送ります。

4 ディスプレイ

各種の情報を表示します。（表示内容については、５章参照）

5 操作ボタン

表示内容の切り替えや各種設定を行います。
また、外出 / 住宅モードの選択を行います。

各部の名称

■ 各部の名称（後）

1 ブラケット取り付け部

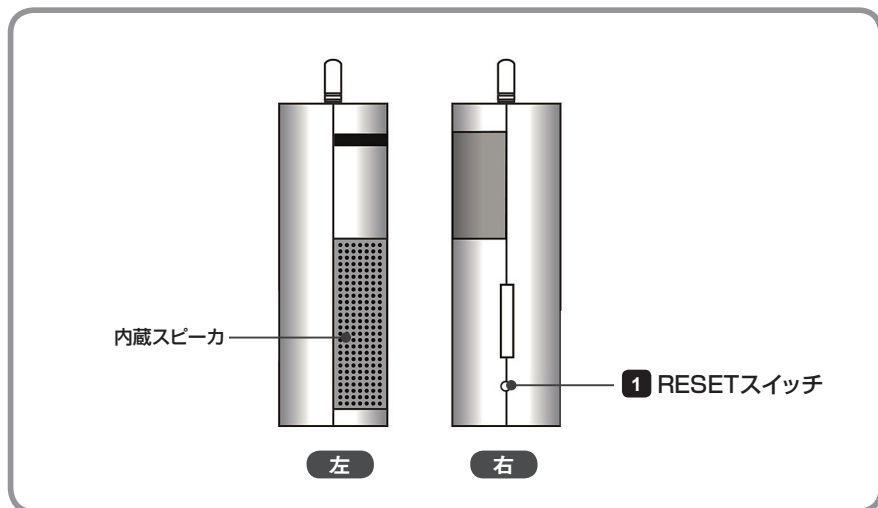
梱包の壁掛け用ブランケットまたはスタンドに固定する際にはこの部分を掛けます。

2 電源カバー

この中にバックアップ用の電池を装着します。（ＣＲ１２３Ａ×２本）
※電池は寿命がありますので、定期的な点検や交換が必要です。
　電池残量についてはディスプレイ左上の表示を目安にしてください。

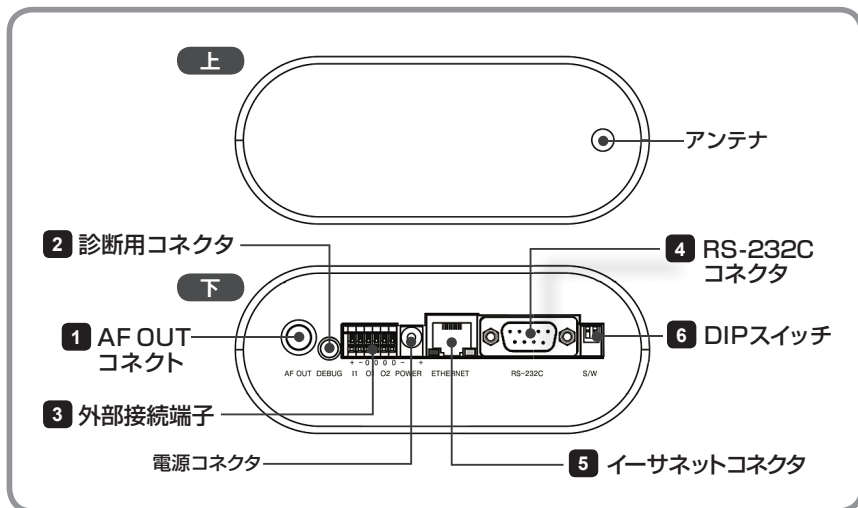
3 リアラベル ／ バーコード

本製品のＩＤなどが記載されています。

■ 各部の名称（左、右）

1 RESETスイッチ

本機器の内部プログラムを強制的に再起動させるスイッチです。
押すときは先端の細長い物で軽く押してください。

各部の名称

■ 各部の名称（上、下）－1

1 AF OUT コネクト

外部スピーカーを使用する際、アンプと接続します。

2 診断用コネクタ

端末診断のための端子です。（お客様ではご利用できません）

※診断用コネクタにイヤフォン等を挿入しないでください。
　故障の原因となることがあります。

3 外部接続端子

外部制御をする機器を接続します。詳細は「6章.外部接続端子について(P40)」を参照してください。

※弊社および販売元の指定業者の指示なく外部接続端子に接続しないでください。
　本機器や接続された機器の故障の原因となることがあります。

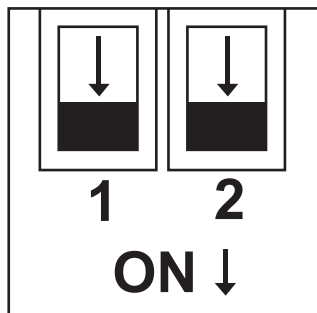
■ 各部の名称（上下）-２

◆ＲＳ-２３１Ｃコネクト
外部制御拡張用です。（お客様ではご利用できません）

※弊社または販売元の指定業者の指示なく他の機器と接続しないでください。
接続した機器や本製品の故障の原因となることがあります。

◆イーサネット コネクト
インターネットに接続するためにＬＡＮケーブルを接続します。
（ネットワーク設定が必要な場合は、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。）

◆ＤＩＰスイッチ
端末設置用スイッチです。お客様では触らないでください。

※設置変更は行わないでください。正常動作しなくなります。

●ＤＩＰスイッチの標準位置（出荷時）

※指定業者については、お問い合わせ窓口へお問い合わせください。

4 機器の設置と接続

■ 設置する前に

本機器はお客様の購入した機器のＩＤと住所などの情報がサーバーに登録されないと正常に動作（地震予報が発報）しませんので、必ずユーザー登録を行ってください。

また、ユーザー登録は別封されているユーザー登録方法に記載されている各指示に従って登録してください。

◆ユーザー登録方法

①同梱しているバーコードラベルをユーザー登録用紙・保証書に貼付してください。
②登録用紙・保証書ともに必要事項を記入してください。
③登録用紙に記載しているいずれかの方法により、ユーザー登録を行ってください。

※登録の際必要となる通信費用につきましてはお客様の負担にてお願いいたします。

※バーコードを貼付した保証書と登録用紙は大切に保管してください。

※サーバーへの登録が完了いたしますと、情報受信ができます。
登録完了の通知はいたしかねます。登録の状況は端末の表示を参照し確認してください。また、情報受信を継続する場合はこちらからご案内した方法で「サーバー利用料」の入金を行ってください。
ご入金が一定期間確認できない場合は、対象の端末に対しての情報配信を停止させて頂く事がございますことご了承ください。

4 機器の設置と接続

■ 機器の設置方法

◆接 続

①すでにお客様が用意されたルーターまたはハブと本体を、ＬＡＮケーブルで接続してください。

※必ず電源を接続する前にＬＡＮケーブルに接続してください。

②付属のＡＣアダプターを接続してください。

③電池を装着してください。

●一般家庭のネットワーク構成では特別な設定は不要です。

●電源を入れて３分以内に基本画面（Ｐ２６参照）が表示されない場合、お問い合わせ窓口にご連絡ください。詳しくは「**４章. 機器の設置と接続（P23）**」を参照してください。

◆イーサネット コネクト

設置の壁掛け用ブラケットまたはスタンドを利用し、落ちたり倒れたりしないよう確実に設置してください。

●スタンドの組み立て
本体をテーブルなどに置く場合は、同梱しているスタンド土台の上にスタンド後部を立たせて、プラスドライバーを使って土台の下面からねじで確実に固定します。

※スタンドの組み立て後、土台に電源ケーブル、ＬＡＮケーブルを通して本体と接続し、スタンド後部に掛けて固定してください。

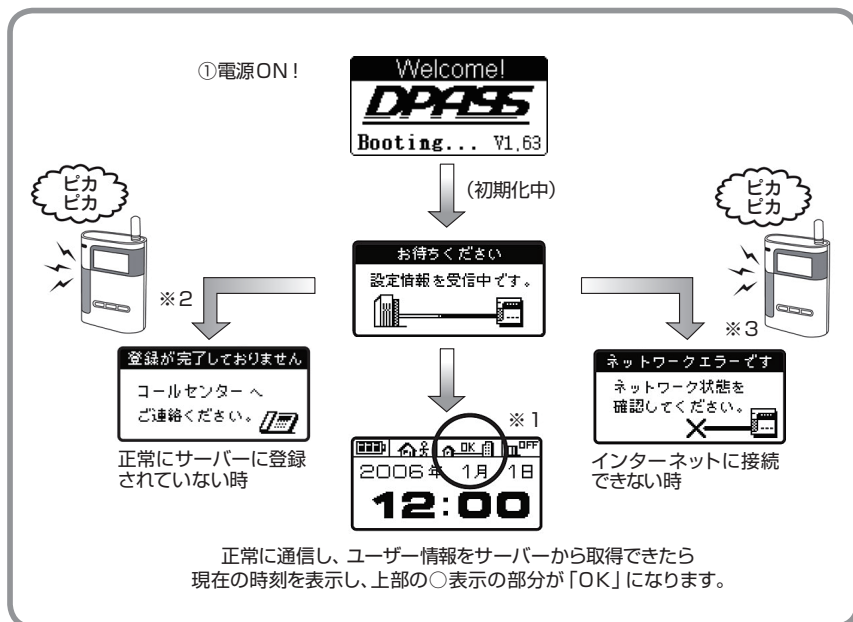
※スタンド後部の差し込みが不十分であったり、ねじをしめすぎたりすると、ねじ穴が破損し固定ができなくなりますのでご注意ください。

●壁掛け用ブラケットの固定
本体を壁に掛ける時は、同梱の「壁掛け用ブラケット」を両面テープと４本のねじでプラスドライバーを使ってしっかり壁に固定したのち、本体の後面のブラケット取り付け部を掛けてください。

●点字ステッカーは、必要な方のみ本体操作ボタンの下側に貼り付けてください。

◆動作確認

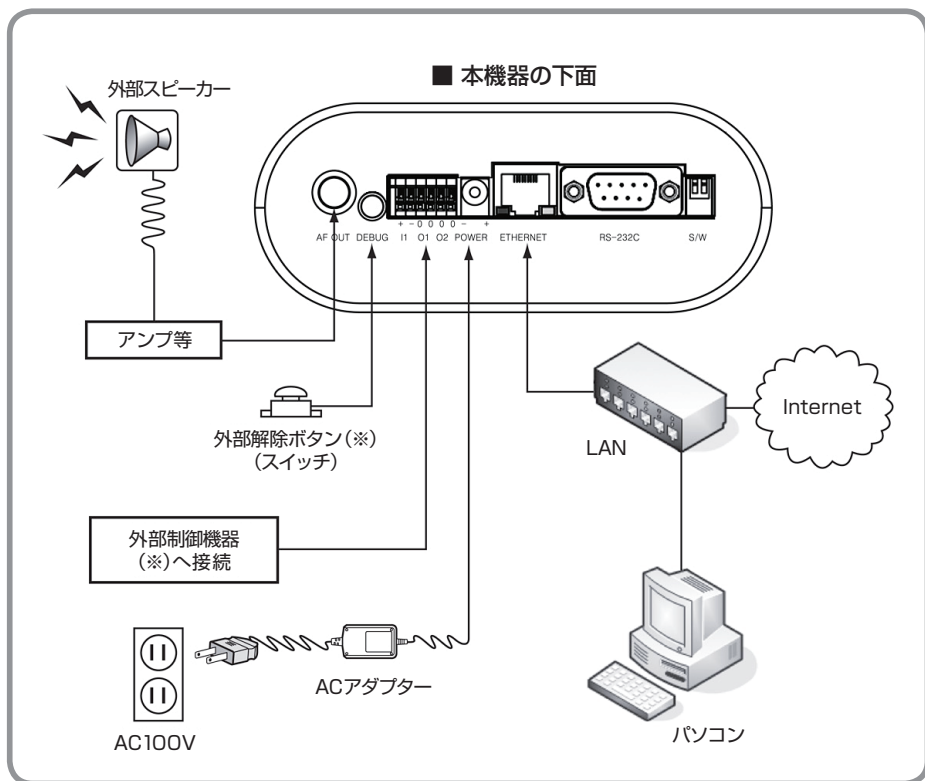
●ユーザー登録手続きが終わりましたら、前ページの設置方法に従ってＬＡＮケーブルを接続したのち、ＡＣアダプターをコンセントに接続してください。

●電源投入後、次のような画面の流れを確認してください。

●電源が入ると、「電源ランプ」が点灯して約３分以内に現在時刻が表示され、「※1」の○表示の部分が「ＯＫ」となります。ここまで正常に立ち上がると本機器は問題なく動作していますので、本書の説明に従ってお客様の好みに合わせてお使いください。

※２　まだお客様のユーザー登録手続きが完了していません。ユーザー登録を行ってください。すでに登録手続きをした方の場合は登録作業中ですので、あと２～３日お待ちください。表示内容が上記と違う場合は、大変申し訳ございませんが、お問い合わせ窓口へお問い合わせください。

※３　お客様のネットワーク環境のチェックが必要となります。契約しているプロバイダーへお問い合わせください。

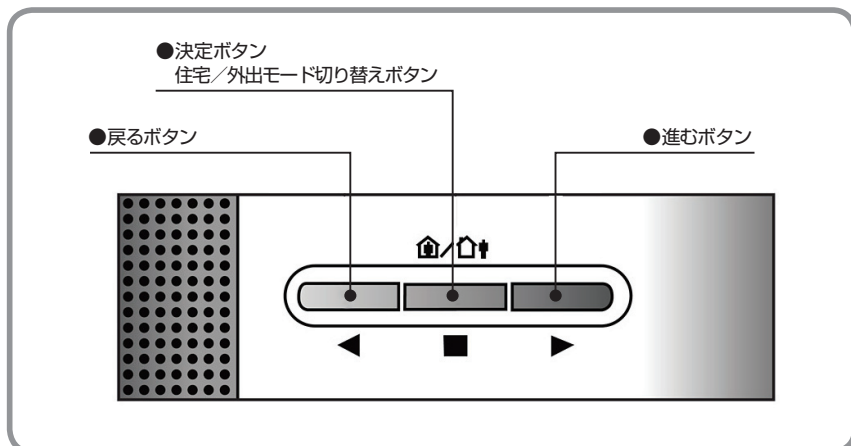
4 機器の設置と接続

■ 機器の接続方法

※外部制御機器および外部解除ボタンの設置・配線に関してはお問い合わせ窓口にご依頼ください。お客様が直接取り付けになった場合は、それに伴う機器の破損、故障などについて、弊社または販売元は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

画面の表示

■ 画面の移動方法

◆ボタン操作

● 本機器は３個のボタンがあります。ボタンを押すときは軽く押してください。

◆戻るボタン（◀）

前の画面に移動します。

◆進むボタン（▶）

次の画面に移動します。
２秒長押しをすることによって設定画面（P35参照）を表示します。

◆進むボタン（■）

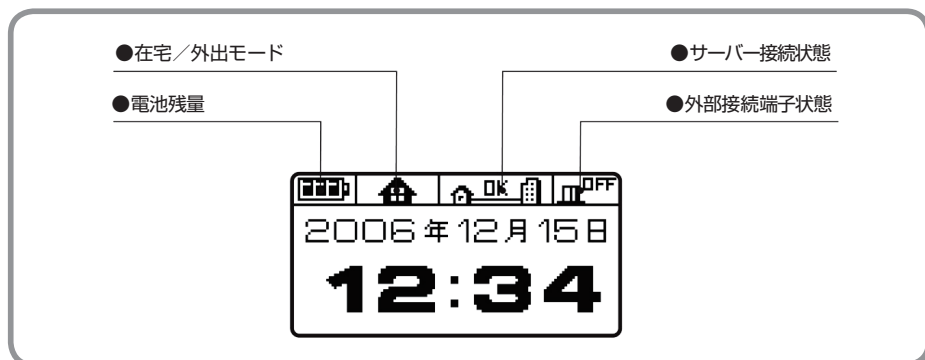
基本画面で２秒長押しをすることにより「在宅 / 外出モード」を切り替えます。
地震履歴表示中は基本画面に戻ります。

また設定画面では現在矢印（ ▶ ）が指示している項目を選択します。

※ボタンを強く押しすぎないでください。ボタンが使えなくなるおそれがあります。
詳しくは「**6章. 機器の操作（P34）**」を参照してください。

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章

5 画面の表示

■「基本画面」の表示内容

◆電池残量

バックアップ用の電池残量を表示します。

◆在宅 / 外出モード

在宅・外出どちらのモードを選択しているかを表示します。

※「外出」モード時は外部接続機器の制御を行いません。

外出モード

在宅モード

◆サーバーとの接続状態

本機器と地震速報電文を配信するサーバーとの接続状態を表示します。

※「ＯＫ」と表示されている時が正常な状態です。

正常通信時

通信異常時

◆外部接続端子状態

外部接続端子に接続したスイッチ（解除ボタン）のＯＮ/ＯＦＦ状態を表示します。

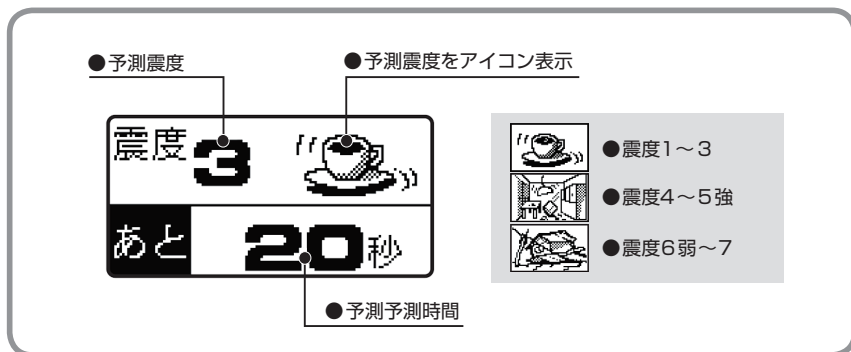
5 画面の表示

■「地震予報」表示内容 - 1

◆地震予報（予報発報）中

実際の地震を感知し、予測震度が設定値（※1）以上になったときに表示します。
また、同時に音声予報を発報します。
次の内容が確認できます。

●予測震度表示
●地震到達時間のカウントダウン

※1 設定値…「**5章.予報レベル（P32）**」を参照してください。

◆地震予報終了（カウントダウン終了）後

内容を表示します。なお、地震情報は履歴として保存されます。（P29参照）

※実際の予報後は、予報確認を行わなければ機器の操作は一切できません。
　予報後は内容確認後、決定（■）ボタンを押して基本画面に戻しておいてください。

■「地震予報」表示内容-2

◆地震予報画面の詳細

●機器の操作途中でも地震情報を行います。この時、音声案内は設定した表現（※1）により「地震震度X、XXX揺れが来ます」のように案内しカウントダウンが始まります。

★1 設定した表現…「**6章.予報震度の設定（P37）**」を参照してください。

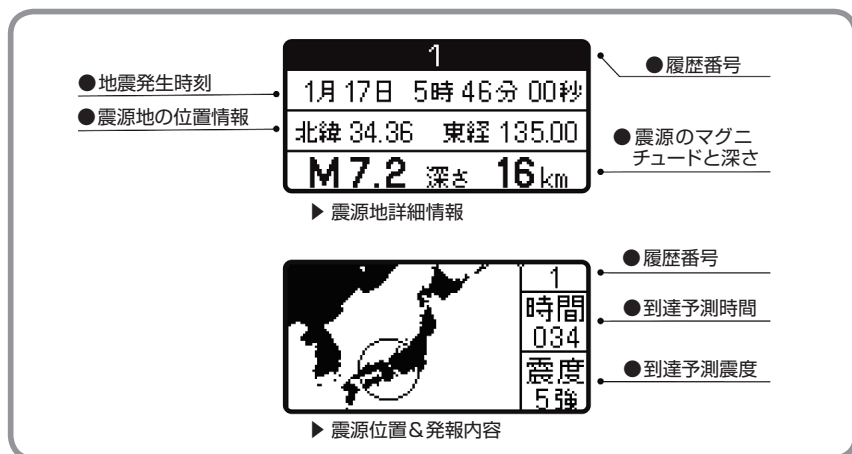
注：地震予報の発報中は、ボタン操作ができません。

●機器の操作中であっても、本機器がサーバーから地震速報を受信した場合は予報を行います。
●予報と同時に外部接続端子が作動します。（住宅モード設定時）

◆キャンセル報について

ごくまれに緊急速報を送った後にその速報自体をキャンセル（取り消し）する速報が流れる場合があります。
このキャンセル報を受信しますと「緊急地震速報を解除します。防災機器はマニュアルに従って復旧してください。」という音声通知を行います。外部機器を接続している場合は、それぞれの取り扱い説明書に従い通常動作モードへ戻してください。

■「地震履歴」表示内容

本機器は、過去に発生した４件の地震情報（受信電文情報の内、端末で予報した時のみ）を履歴として表示できます。

◆履歴番号
最新の情報を履歴番号「１」として登録します。
複数件になった場合は「２→３→４」と順次表示します。
履歴が５件以上になった場合は、古い履歴から削除します。
電源・ネットワーク接続が外れた場合は、履歴は消えます。

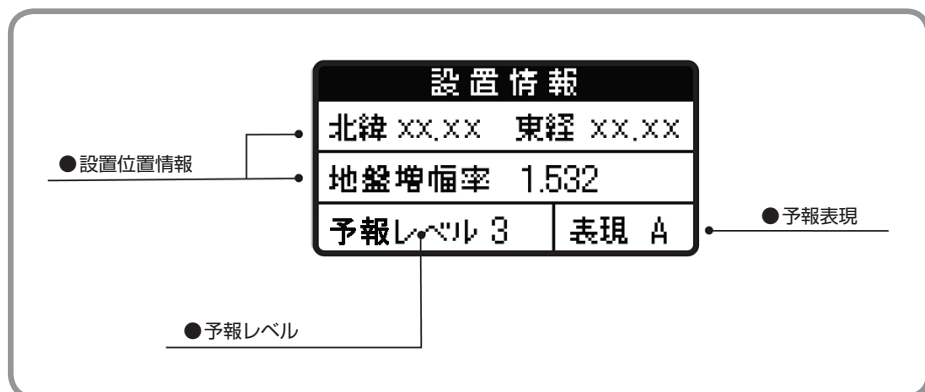
◆地震発生時刻
地震が発生した日時を表示します。

◆震源地の位置情報
震源地の位置情報を北緯、東経で表示します。

◆震源のマグニチュードと深さ
震源のマグニチュードと深さを表示します。

◆震源位置
詳細情報で表示した震源地を地図上で表示します。
サークルの中心が震源地になります。

◆到達予測時間・到達予測震度
実際に発報した予測内容を表示します。

■「設置情報」表示内容

◆設置位置情報

お客様は本機器を使用するにあたりユーザー登録した住所の固有情報（緯度、経度、地盤増幅率）を表示します。

※初回起動時（電源投入時）に弊社サーバーから情報受信をして自動で認定されます。
（お客様による設定変更はできません）
※本機能は手動設定できません。

◆予報レベル

予報レベルに認定されている震度以上を予測したときに予報を鳴らします。

※本項目は設定画面で設定できます。
（出荷時はレベル３としてあります。P32参照）

◆予報表現

地震予報を発報する時の表現方法を表示します。
A：詳細表現 … 予報の内容を数値で表現します。
B：曖昧表現 … 予報の内容を文章で表現します。
（例：物が倒れるぐらいの揺れがまもなく来ます）

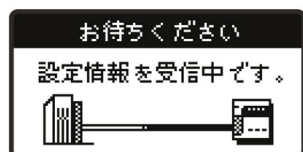
※出荷時はA（詳細）としてあります。
※本項目は設定画面で設定できます。（P32参照）

■ その他の表示内容

◆基本画面

電源投入時、本機器の初期化を行っているときに示します。

お待ちください

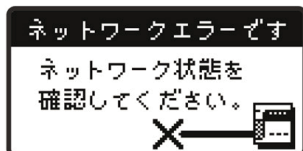
設定情報を受信中です。

◆接続確認画面

初期化の後、インターネットを経由しサーバーから設定情報を受信しているときに表示します。

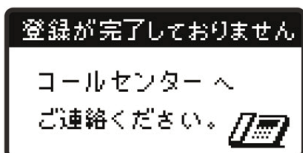
※接続ができないとエラー画面が表示されます。

◆エラー画面

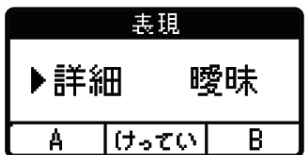
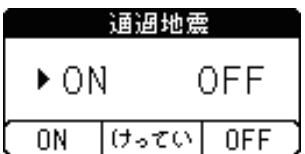
ネットワークエラーです

ネットワーク状態を
確認してください。

●お客様のネットワーク環境に問題がありサーバーと通信できないときに表示します。
お客様のネットワーク環境のチェックが必要となります。ご契約しているプロバイダーへお問い合わせください。

登録が完了しておりません

コールセンター へ
ご連絡ください。

●サーバーと通信はできていますが、ユーザー登録が完了していません。登録手続きを行ってください。
（P21参照）
それでも解決しない場合は、お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

第1章 第2章 第3章 第4章 第5章 第6章 第7章 第8章

■「設置画面」表示内容

「設定」画面

◆各種設定画面

操作ボタンより、以下の操作が可能です。

①テスト	⑤訓練報の設定
②予報震度の設定	⑥コントラストの設定
③予報表現の設定	⑦ボリュームの設定
④通過地震の設定	⑧ＲＦ出力の設定

「テスト」画面

① テスト

テスト

「テスト」を選択すると予報のテスト発報を行います。
（P36参照）

② 予報震度

この画面に表示される震度以上の地震速報を受信した時に発報します。
（設定方法については、P37参照）

「予報震度」画面

③ 予報表現

予報時の表現方法が「詳細」と「曖昧」のどちらに設定されているかを表示します。
（設定方法については、P38参照）

「通過地震」画面

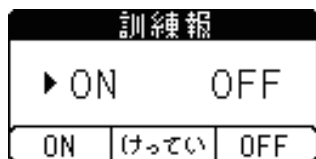
④ 通過地震

大きな揺れであるＳ波（主要動）の予測猶予時間がマイナスの場合（到達済の地震）に対して報知動作させるかを設定します。（設定方法については、P39参照）

OFF：予測猶予時間が「＋1秒」以上の地震に対して報知動作を行います。

ＯＮ：予測猶予時間が「－10秒」までの地震に対して報知動作を行います。報知音声はマイナス秒の場合であっても「震度ｘ、ゼロ」となります。

※ 本機器の緯度経度設定付近で地震が発生した場合や直下型地震等ではＳ波の到達予測猶予時間が報知動作に間に合わ無い可能性があります。このような場合においても報知動作させたい時は通過地震設定を「ON」にすることで報知動作の許容を拡大することができます。

画面の表示

「訓練報」画面

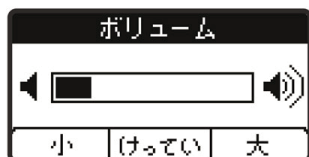
⑤ 訓練報

気象庁の訓練報や配信事業者の配信システムから配信される訓練用の緊急地震速報電文を受けて本機器を報知動作させるかを設定します。
（設定方法については、P39参照）

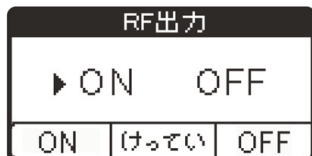
OFF：訓練報による報知動作を行いません。
ＯＮ：訓練報による報知動作を行います。

「コントラスト」画面

⑥ コントラスト

本機器の画面コントラストを設定します。
（設定方法については、Ｐ39参照）

「ボリューム」画面

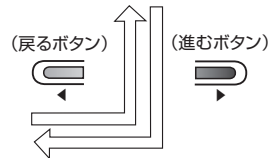
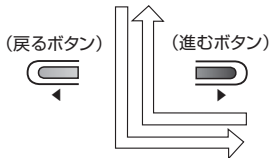
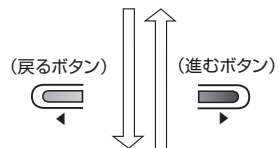
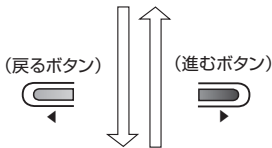
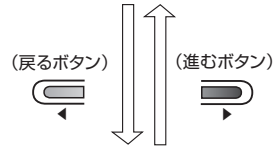
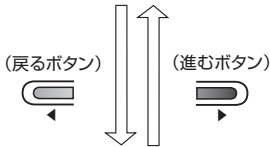
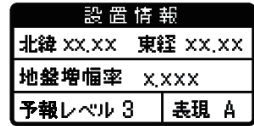
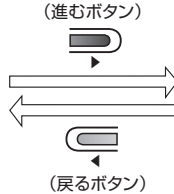
⑦ ボリューム

「ボリューム」を選択すると本機器のスピーカーから発生するボタン操作音のボリュームを設定します。
（設定方法については、P39参照）

「ＲＦ出力」画面

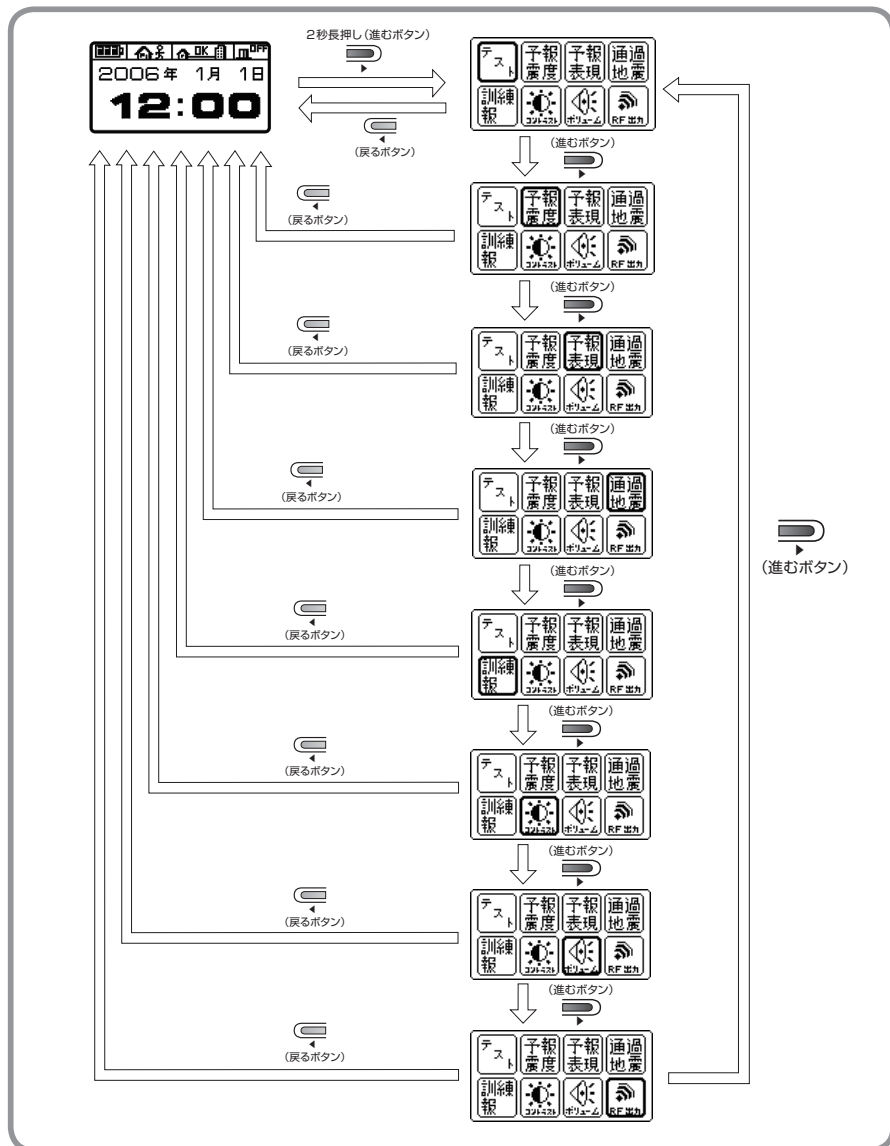
⑧ ＲＦ出力

本製品からオプション機器に対して放出する無線電波をＯＮ／ＯＦＦします。
（設定方法については、P39参照）

※ ＲＦ出力をＯＦＦにします。子機からは予報は発報しません。

■「地震履歴」の参照操作

(進むボタン)
(戻るボタン)
2006年12月15日
12:34
●基本画像
設置情報
北緯 xx.xx 東経 xx.xx
地盤増幅率 x.xxx
予報レベル 3 表現 A
(戻るボタン)
(進むボタン)
4
3
1
1月17日 5時46分 00秒
北緯 34.36 東経 135.00
M7.2 深さ 16km
どの画面でも
基本画面へ
2
時間
031
震度
5強
1
時間
034
震度
5強
2
6月12日 17時 14分 00秒
北緯 38.1 東経 142.4
M7.4 深さ 40km
●地震履歴2

■「設定」画面でのボタン操作

◆ 設定画面へ移動するときは（ ▶ ）ボタンを２秒長押ししてください。

◆「設定」画面で進む（ ▶ ）ボタンを押すと、選択を示す矢印が次の項目へ移動します。

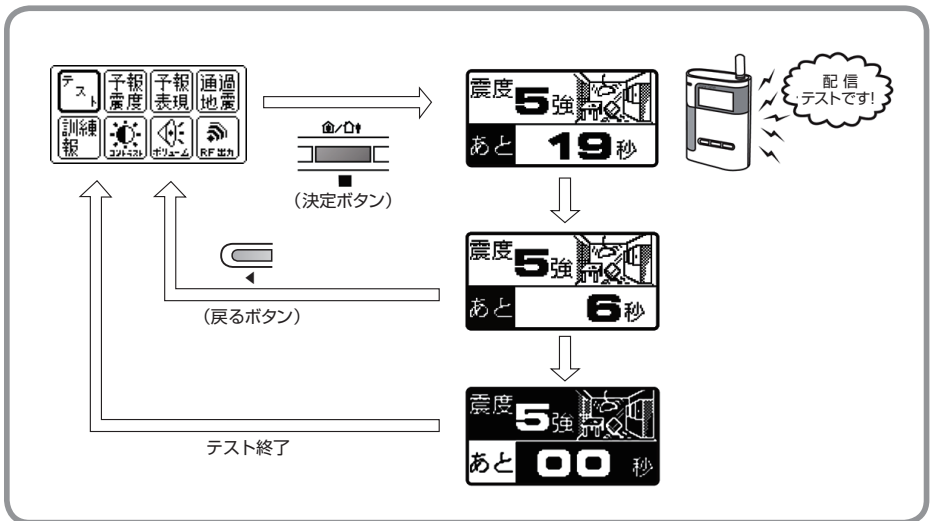
◆ 決定（ ■ ）ボタンを押すと、選択された項目の設定画面へ移動します。

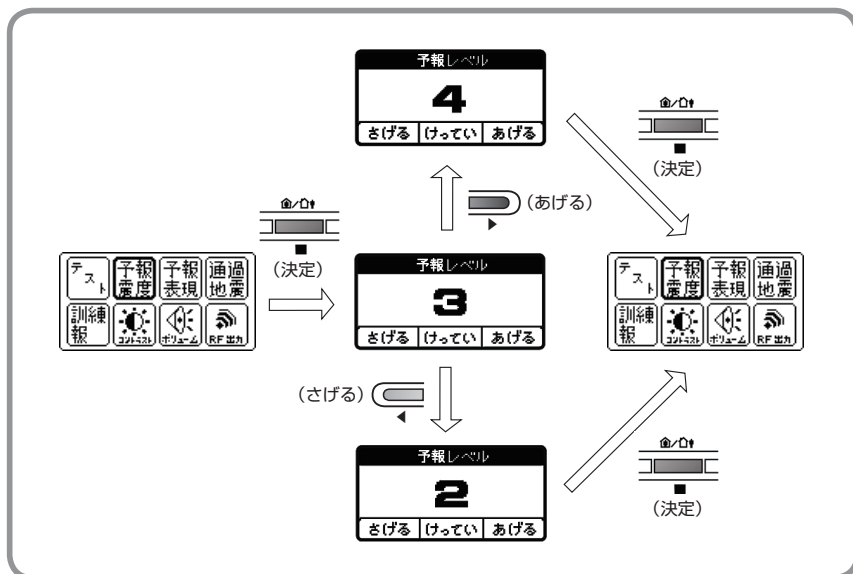
6 機器の操作

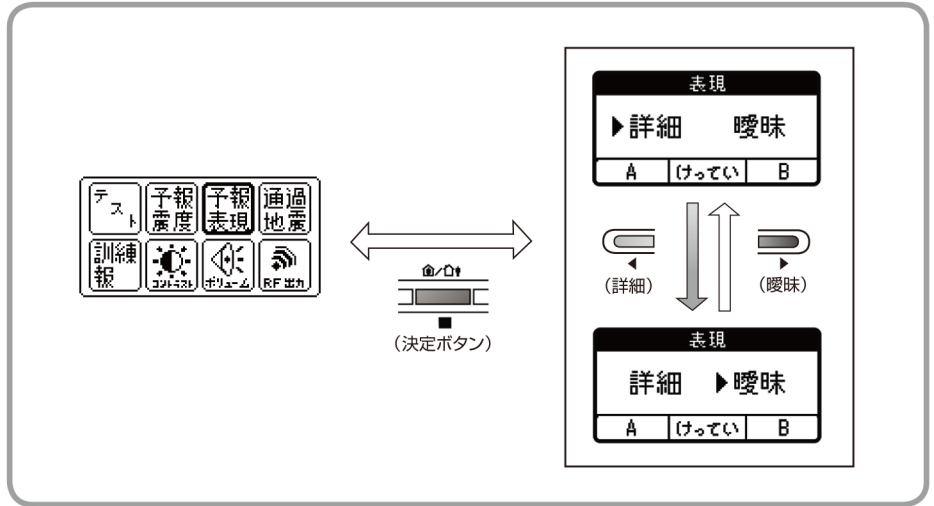
■ 住宅 / 外出モードの切り替え

※外出モードに設定している時は外部接続機器の制御を行いません。

■「テスト」発報を行う

◆「設定」画面で「テスト」を選択して決定（■）ボタンを押すことにより、地震速報の配信テストを実行できます。

※予報内容は「震度5､19秒後」に設定されています。
※テスト中、在宅モードに設定されている時は外部接続端子も動作します。

■「予報震度」の設定

◆「設定」画面で「予報震度」を選択して決定(■)ボタンを押すと、「予報レベル」画面に入ります。
◆進む(▶)ボタン、戻る(◀)ボタンを押すことによって数値を上げ / 下げできます。希望の数値に合わせた後、決定(■)ボタンを押してください。設定数値を保存後、「設定」画面に戻ります。
◆予報レベルは1〜4、5弱、5強、6弱、6強、7から選択できます。

■「予報表現」の設定

◆「設定画面」で「予報表現」を選択して決定（■）ボタンを押し、「予報表現」画面に入ります。

◆進む（▶）ボタン、戻る（◀）ボタンを押すことによって予報表現を選択できます。
希望の表現に合わせた後、決定（■）ボタンを押してください。
設定を保存後、「設定」画面に戻ります。

◆詳細表現（A）と曖昧表現（B）の違いは以下のとおりです。

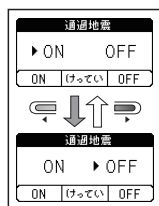
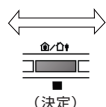
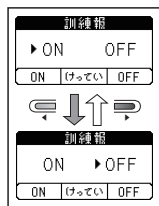
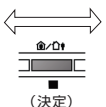
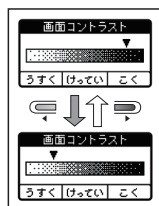
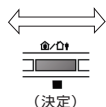
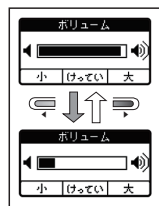
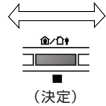
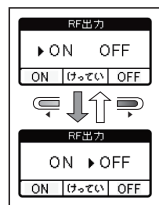
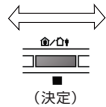
詳細（A）		あいまい（B）
震度1、2、3	＝	小さなゆれが
震度4、5弱、5強	＝	物がたおれるぐらいのゆれが
震度6弱、6強、7	＝	命にかかわるほどのゆれが

10秒（0〜19秒）	＝	すぐに来ます
20秒（20〜29秒）	＝	まもなく来ます
30秒（30秒以上）	＝	もうまもなく来ます

※本機能をご利用になる設置環境によっては、詳細表現（A）での予報をした場合、カウントダウンによるパニックをまねく方がいらっしゃるおそれがありますので、その場合は曖昧表現（B）を選択してください。

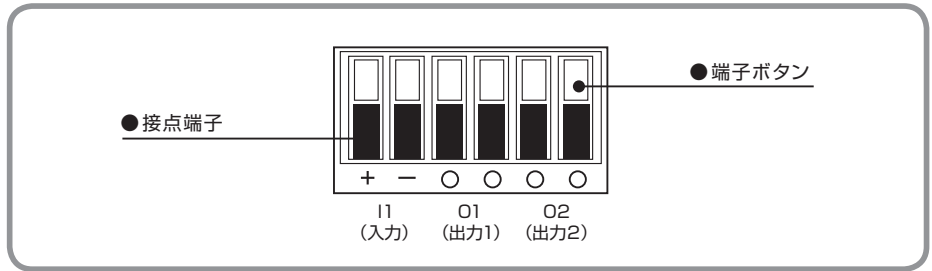
※曖昧表現（B）を選択していても、10秒以下になった場合はカウントダウンを行います。

※予報内容によって発生した二次的災害（情報受信時のパニックによる転倒等）について、弊社または販売元は一切の責任を負いません。

■ その他の設定

■「訓練報」設定

■「コントラスト」設定

■「ボリューム」設定

■「RF出力」設定

◆（▶）ボタンで選択して決定（■）ボタンを押すと、それぞれの画面が表示されます。
◆進む（▶）/ 戻る（◀）ボタンを押すことによって設定値を調整できます。
希望の設定値に合わせて決定（■）ボタンを押してください。
設定値を保存後、「設定」画面に戻ります。

■ 外部接続端子について

※弊社または販売元の指定業者の指示なく外部接続端子に接続しないでください。
※外部制御機器を接続する時は、各端子のボタンを軽く押してコードを差し込んでください。

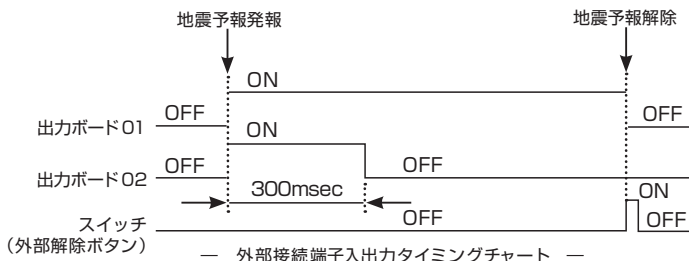
◆入力

●出力ポート０１を解除（ＯＦＦ）させるスイッチ（外部解除ボタン）を接続します。
※無電圧ループ接点のため、電圧を与えないでください。故障の原因となります。

◆出力

●出力ポートは０１と０２の２チャンネルです。
●出力ポート０１は地震予報と同時にＯＮになります。
地震予報後に解除するまでＯＮのまま継続します。
●出力ポート０２は地震予報と同時に３００ｍｓｅｃ（0.3秒）間のみＯＮになります。
（ＪＥＭＡ－ＨＡ規格準拠）
●出力ポート０１の解除は下記方法で行われます。
①本機発報確認時に決定（■）ボタンを押す。
②入力ポートに接続したスイッチ（外部解除ボタン）をＯＮにする。

※０１、０２ともに無電圧ループ出力です。
許容入力は両チャンネル使用時でＭＡＸ ４０Ｖ、８０ｍＡ（瞬時 Ｐｅａｋ １５００Ｖ、２４０ｍＡ）です。

※接続できる機器については、お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

― 外部接続端子入出力タイミングチャート ―

■ 定期点検

※本製品は常に安定稼動させるために、定期点検を行ってください。

●日常の点検
　本製品のディスプレイの「**5章.基本画面(P26参照)**」で、以下の点を確認してください。

　①「電池残量」が十分にあること。
　②「サーバー接続状態」が「ＯＫ」になっていること。
　③サウンドユニットを併用している場合は、予報テスト（Ｐ３６参照）を行い、サウンドユニットから予報が適切な音量で聞こえること。

長期使用により、電池残量が少なくなってきた場合は、お客様にて市販のリチウム電池（ＣＲ１２３Ａ）を別途ご購入のうえ、交換してください。

上記にかかわらず、本製品に以上が見られた場合は、ただちにお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●業者による点検
　本製品の内部で使用している部品の劣化や寿命などを点検するために、１年に１回はお問い合わせ窓口の指定業者に点検を依頼してください。

※業者による点検は、本製品の保証期間内外を問わず有料となります。

7 困ったときは

■ トラブルシューティング

◆地震履歴がなくなります。

●通信状態に異常があった場合、本機器は自動的に再起動します。
　再起動の際、保存していた履歴を消去されます。

◆電源を入れても画面に何も表示されません。

①本体の左上の電源ランプが点灯しているかお確かめください。
②本機器付属のＡＣアダプターかお確かめください。
※ＡＣアダプターはＡＣ　１００Ｖ、６０/ ５０Ｈｚ専用です。
※変圧機等を使用している場合、その機器の仕様をもう一度お確かめください。

◆本体の電源ランプおよびディスプレイがＯＮ/ＯＦＦを繰り返します。

本機器は電源ランプを点滅させることによって異常が発生していることをお伝えします。
サーバーとの通信ができない場合、約３分単位で自動的に再起動を繰り返します。再起動を繰り返す場合、次の項目を確認してください。

①サーバーとの接続ができない時
　▶ネットワーク環境をお確かめください。(ハブ、ルータープロバイダー)
　▶ルーターセキュリティ設定のＴＣＰ「９００１」ポートの制限を許可してください。
　▶ルーターのＤＨＣＰ設定を有効にしてください。
②通信ができてもユーザー登録手続きが完了していない時
　▶「**４章. 設置する前に（P21）**」を参照してください。

◆ディスプレイ画面のサーバー接続状態「×」のままです。

本機器はお客様のご自宅のネットワーク環境からプロバイダーの通信回線を経由して弊社のサーバーへ接続されます。時により不具合が生じることでサーバー接続状態が「×」になるときがあります。

①電源を入れ直してその変化をお確かめください。
②ＬＡＮケーブルが正しく接続されているかお確かめください。
③ハブ、ルーター、インターネットプロパイダーの設定をお確かめください。
④使用しているネットワーク機器（モデム・ルーター・ハブ）の電源を入れ直してください。
⑤ルーターセキュリティ設定のＴＣＰ「９００１」ポートの制限を許可してください。
⑥ルーターのＤＨＣＰ設定が有効になっているかお確かめください。
⑦パソコンやネットワーク機器が本機器と同じＩＰアドレスを使っていないかお確かめください。

■ 定期点検

◆基本画面から５分以上待っても変化がありません。

①本機器の右側のリセットボタンが押されたままの状態になっていないかお確かめください。
②ＬＡＮケーブルおよびＡＣアダプターを接続して直してください。

◆ボタンの操作ができません。

①予報後は、予報確認を行わなければ機器の操作は一切できません。
予報の内容を確認後、決定（■）ボタンを押して基本画面に戻してください。
②地震予報が発報している最中はボタンの操作はできません。
③本機器に電源を入れて基本画面が出てくるまで操作はできません。
④サーバーとの通信ができない状態が約３分続くと、自動的に再起動しますが、この時にもボタンの操作ができなくなります。

◆操作音が聞こえません。

●「設定」画面の「その他」で「ボリューム」の設定値をお確かめください。
「**6章. その他の設定（P39）**」を参照してください。

◆画面の文字が見えません。

●「設定」画面の「その他」で「画面コントラスト」の設定値をお確かめください。
「**6章. その他の設定（P39）**」を参照してください。

◆その他。

その他の疑問点や本機器の不具合がありましたらお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
●お問い合わせの際には必ず、お客様が使用している機器のＩＤをお伝えください。
（本体裏面のリアラベルに記載されています。）

◆修理の受付。

本製品の不具合等による交換を希望の方は、ご連絡いただく前に、本書や弊社ＷＥＢサイトを参照し、設置方法や設定等が正しいか再度ご確認ください。
正しく設置や設定を行っているにもかかわらず不具合が改善されない場合は、お問い合わせ窓口までご連絡ください。

●保証期間中の場合
保証書の記載に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証規定をお読みください。
●保証期間後の場合
ご要望により有料で修理させていただきます。

7 困ったときは

※ご注意：必ずお読みください

●製品をお送りいただく前に、必ずお問い合わせ窓口へご連絡のうえ、窓口の了解を得てください。お問い合わせ窓口の了解なくお送りいただいた場合は、受け取りが拒否されます。

●お問い合わせ窓口までの送料はお客様のご負担となります。着払いでお送りいただきますと、受け取りが拒否されます。なお、運送中の事故においては、お問い合わせ窓口は責任を負いかねます。

●修理の際、本製品は工場出荷時の状態に戻ります。お客様が行った設定、および予報履歴は消去されます。

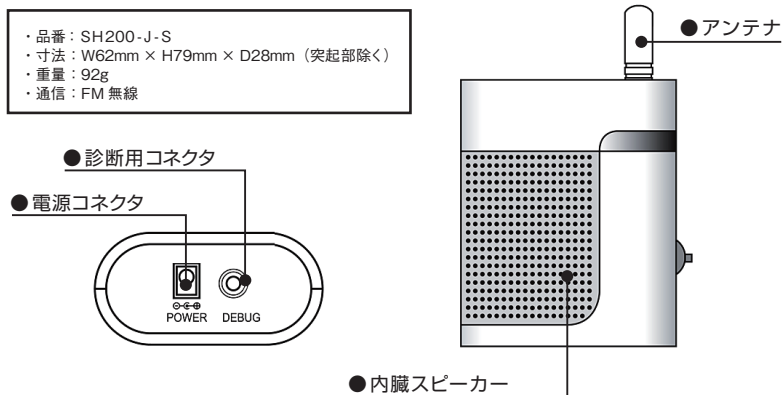
●上記は変更になる場合もありますので、お問い合わせ窓口ＷＥＢサイトで最新の情報をご確認ください。

●「初期不良」は、製品のご購入後１週間以内に弊社へご連絡いただいた場合に限ります。

株式会社ドリームウェア
TEL：044-931-4820
(平日10：00～17：00 ※土・日・祝日・年末年始除く)

■ オプションサウンドユニット(品番:SH200-J-S)

このオプション品を使用することにより、本体から離れている場所(部屋)でも予報を聞くことができます。(一台の親機に対して接続できる子機の数に制限はありません)

※サウンドユニットはオプションです。
詳しい情報はお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
親機のＲＦ出力が「ＯＮ」に設定されている必要があります。
電波到達距離は、直線距離で目安４０ｍです。
設定環境によって短くなる場合があります。

◆電源コネクタ

サウンドユニット専用のＡＣアダプターを接続します。
本機器(親機)のＡＣアダプターは使わないようご注意ください。

◆診断コネクタ

端末診断のための端子です。

※診断コネクタにイヤフォン等を挿入しないでください。
故障の原因となることがあります。

◆内臓スピーカー

本機器(親機)から送信された電波により、本機器と同時に予報を発報します。

◆アンテナ

本機器(親機)から地震の予報信号を受信します。

保証規定

1. 保証期間内に、正常なる使用状態において、製造上または部品が原因で異常が発生した場合には、弊社の責任において保証します。

2. 保証期間内に異常が発生し、検査が必要となった場合は、保証書をご提示の上、お問い合わせ窓口にご依頼ください。

3. 検査ご依頼時の脱着作業費、それらに伴う交通費および送料等の諸経費は、お客様のご負担となります。また、検査や保証修理等で使用できない期間、地震速報を受信できなかったことを原因とする一切の損害費用の補償はしません。

4. 本製品は、登録した場所に設置した場合のみ上記事項に定めた保証をします。
また外部制御機器の間違った取付や、その他の改造等をした場合は、保証対象外となります。

5. 下記の事項については保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
①ユーザー登録が行われていない場合、および、本保証書のご提示がない場合。

②保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合、および新品時のユーザー登録以外の場合、使用者の変更が発生した場合。

③取扱説明書に記載された内容とは異なる方法で、使用した場合の作業上の事故・故障および損傷。

④取扱説明書に記載されてある、注意事項の不徹底により発生した場合の、作業場の事故・故障および損傷。

⑤ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没）または改造し設置した場合の故障および損傷。

⑥本製品と併用して使う外部制御機器の異常が原因による故障および損傷。

⑦使用により生じた、傷や塗装などの外見上の変化、および化学薬品の付着による表面処理の変化、および変質。

⑧登録した以外の場所に設置している場合。

⑨お買い上げ後の輸送や移動時の落下・衝撃などのお取り扱いが不適切なために生じた事故および損傷。

⑩火災・地震・風水害・落雷その他の天変地異、および公害・煙害・異物混入・塩害・盗難・事故などによる故障および損傷。

⑪有寿命部品や消耗品の自然消耗、腐耗、劣化等により部品の交換が必要になった場合。

保証規定

⑫故障および損傷原因が製品以外にある場合。

⑬消耗品および付属品。

⑭前ページ以外で弊社の責に帰すことができない原因により生じた故障および損傷

7. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する他への影響（本製品以外の損傷・事故や、地震速報を受信できなかったことによる損傷等）に付きましては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

8. 本保証書は、日本国内において使用することのみ有効です。

   This warranty is valid only in Japan

■ ご注意

●保証書、バーコードラベルは、いかなる場合においても再発行しませんので、紛失なさらないように、大切に保管してください。

●本製品に関しては保証期間中においても出張修理は行いません。

●本保証書は、登録されたお客様に対してのみ有効となります。そのため、個人情報も記載されていますので、保証書の保管はお客様の責任において行ってくださいますようお願いします。

●本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

●本製品の仕様、外観とも、改良等により予告なく変更する場合があります。

保証書

本書は、記載内容の範囲で無料修理させていただくことをお約束するものです。
保証期間内に故障が発生した場合は、お買い上げの販売元または工事店に修理をご依頼の上、本書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

バーコード		- この上にバーコードを貼付してください -		
MODEL		SH200－J		
登録(申込)日		年　　月　　日		
お客様	ご住所	〒		
	設置住所	〒		
	お名前		☎1	
	E-mail		☎2	
販売店	販売店（工事店）名・住所・電話番号			
保証期間		お買い上げ日　　年　　月　　日より		1 年

ご注意

■ 本書についての注意

1. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

2. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一不備な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

3. 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、弊社に無断で使用できません。

4. 本製品の仕様、価格、外見などは予告なく変更することがあります。

5. 本製品は、日本国内での使用を前提に設計したものです。海外では使用しないでください。
本書に記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

NO.	発行年月日	版数	記載変更内容
1	2009 年 11 月 1 日	初版	初版発行
2	2010 年 4 月 1 日	第２版	字句修正
3	2010年11月５日	第３版	通過地震、訓練報を追加

◆ 品番　SH200-J
◆ 定格入力　12V-800mA
◆ 消費電力　1W
◆ 寸　法　W123mm × H158mm × D53mm（突起部除く）
◆ 重　量　371g（電池除く）
◆ 音湿度条件　動作時 0 ～ 40℃、非動作時 10 ～ 60℃
（10 ～ 80%RH）以下 結露なきこと
◆ オプションとの通信方式　ＦＭ無線
◆ 使用周波数帯　449.7125 ～ 449.8875MHz
◆ 外部接続
入力 － 1ch
●無電圧ループ接点入力に対応
入力 － 1ch、2ch
（ 定格電圧：ＭＡＸ 40V 両チャンネル瞬間 Peak 1500V ）
（ 定格電圧：ＭＡＸ 80mA 両チャンネル瞬間 Peak 240mA ）
※ 1ch、2chともに無電圧ループ接点出力
◆ 音声ライン出力　RCA MONO, 800nV、-9dBm/600Ω不平衡

お問い合わせ

株式会社ドリームウェア
TEL：044-931-4820
（平日10：00～17：00 ※土・日・祝日・年末年始除く）